



夢よ育て・元気と笑顔が集う東白川

くらしと議会

発行 東白川村議会
編集 東白川村議会編集委員会
住所 岐阜県加茂郡東白川村
神土 548 番地
電話 0574 - 78 - 3111

東白川村議会 活動情報誌

平成十八年度一般会計他四会計補正予算を全会一致で可決

平成十八年第四回定例会を開催

第四回東白川村議会定例会は、十二月十五日に開会し、一般質問四名、条例改正二件、一般会計補正予算（補正後の総額十九億五千四百八十二万一千円）他特別会計補正予算四件、財産取得、人事案件三件等が上程され、同日すべての議案が可決されました。

一般会計補正予算の主な内容

- 総務管理費
自主運行バス補助金 百五十万一千円
- 交通安全対策費
街路灯設置工事 四十八万九千円
- 企画費
有線施設撤去事業の減額 △四百三十八万二千円
- 住民福祉費
国保会計への繰出金 三百六十二万四千円
- 介護保険会計への繰出金減額 △四百五十万三千円
- 認可保育所費
遊具修繕料 六万九千円
- 山村振興事業費
農園付きコテージの取り止め △三千六百三十七万五千円
- 道路橋梁維持費
道路台帳の整備 十万三千円
- 教育委員会費
教育長人件費 △四百九十六万二千円

財産取得について

消防施設の更新計画により、今年度ポンプ付積載車三台を購入契約したことに伴い、議会が取得することについて承認をしました。この三台のポンプ付積載車は、下親田、陰地及び大

選任同意

固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会が同意しました。

- 村雲 寛氏（大口集落）
昭和十六年二月二十一日生
 - 熊澤 健氏（黒淵集落）
昭和九年四月十六日生
 - 今井照夫氏（大沢集落）
昭和二十年十二月七日生
- 任期は、平成十八年十二月二十六日から平成二十一年十二月十五日までの三年間

議会より意見書を提出

森林環境税の創設を 求める意見書（抜粋）

近年、森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなってきている。しかしながら、森林を守り育ててきたわが国の山村・林業は、木材価格の低迷や後継者不足などにより、林業関係者のみでは森林の保育・管理を行っていくことが極めて困難な状況となり、必要な手入れがされることなく放置される森林が急増している。

している。

このような状況において、世界に例を見ない緑豊かな森林、生命の源である水を育み、大気を浄化するとともに、災害から国土を守る国民共有の貴重な財産としての森林を維持、保全していくためには、山村地域の住民や自治体のみならず、都市部や海沿いの地域の住民や自治体も一緒に「森林・山村を育て、水や空気を守っていく」という国民的な認識と森林を次世代へ引き継いでいくという気運を高めていくことが重要である。

ついで、森林のもつ公益的機能に対する新税として「全国森林環境税」を早急に創設し、森林を有する山村地域の市町村が森林の維持、育成のための財源を確保できるようにすることを強く求める。以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

（提出先） 衆議院議長 参議院議長
議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 環境大臣

総務民教関係団体との 懇談会を開催

総務民教関係の団体との懇談会を十一月三十日開催しました。この懇談会は、関係団体の皆さんから要望事項や意見交換を行い、広く村政に反映させようと議会が主催し、昨年から実施しています。当日は、十一の関係団体の代表者に出席をいただき活発な意見交換が行われました。

あの話ってあれがびっくりだった

子育てママさんからの要望書

「旧越原保育園に児童館を設けてほしい」という要望書が村と議会へ昨年六月九日に提出されました。これを受け、議会では、六月二十二日にママさんの会との懇談会を実施し、意見交換を行いました。この要望に対し村は、子育て支援室の分室として、支援事業を週三日行い、それ以外は、ママさんの会に開放することになりました。

むくハウスを利用して （旧越原保育園） 子育てママさんの会

昨年八月一日からひよこクラブの支援事業に合わせ、子育てママの会の役員が規約を作成し、学童保育を中心とした子育て支援活動を始めました。子育て中の親が抱えている問題を少しでも和らげたり、助け合いをし地域の中でお互いの子供を育もうとするものです。

夏休みには、子供達（弁当持参）を当番制で預かり自主学習や宿題を見守り、学校プールへの配慮、保育事業以外の一時預かりも受けました。ゲーム機が

日常から切り離せない子供達にとってこの場所は、自分達で考え遊びを見つけれられる最良の場であり、子供達が一つとなり笑いお互いを慕い思いやりという光景は尊く微笑ましいものでした。「適した場所に預けられるので安心して働けます」という嬉しい言葉も頂きました。

夏休み終了後は、放課後学童保育と一ヶ月に一度ふれあい学習として習字教室、廃材を利用した玩具作り、映画会等を行いました。遊び場所を設定する事が、人口の増加に直接繋がるとは言えませんが子供達を見て、子供は可愛い、愛しい、尊い者と大人が感じ、子供と向き合う事で増えると感じています。

現在、ボランティア会員は、十七名。年齢性別を問わず私達と一緒に活動して頂ける方を募集しています。老朽化している旧園舎ですが、草木の剪定、遊具や屋根瓦の修理、砂の寄附など皆さんの力で少しずつ新しくなっています。子供達にこの尊い後姿も知らせながら活動を続けたいものです。

平成18年度 子育て支援室分室（むくハウス）利用状況											
区分	子育て支援事業分					子育てママさんの会利用分					ボランティア
	日数	組数	子供	保護者	計	日数	学童保育	子供	保護者	計	
8月	12	96組	128人	96人	224人	26	34人	201人	41人	276人	52人
9月	11	127組	161人	128人	289人	18	13人	26人	3人	42人	27人
10月	14	110組	139人	110人	249人	21	14人	163人	36人	245人	32人
11月	12	64組	83人	64人	147人	15	12人	73人	14人	122人	23人
12月	10	40組	47人	40人	87人	11	10人	116人	17人	143人	22人
計	59	437組	558人	438人	996人	91	83人	579人	111人	828人	156人
平均	11.8	87組	112人	88人	199人	18.2	17人	116人	22人	166人	31人
日数当たり		7.4	9.5	7.4	16.9		0.9	6.4	1.3	10.0	1.7



廃材を利用した玩具作り（ムクハウス）

一般質問(四人の議員が村政の課題を問う)

熊澤光介議員

高齢者福祉の充実と

子育て支援について

平成十九年度の予算編成を前にして、高齢者福祉の充実と子育て支援事業の拡充は、本村にとって緊急の課題であると考えます。村長は、第四次総合計画の遂行に当たり、現時点でどのように構想されているのか伺います。

答弁(安江村長)

高齢者福祉については、村民の皆さんが住みなれた地域で安心して生活できるよう、限られた財源を有効に生かした事業を展開したいと考えています。

子育て支援については、近年の女性の就労機会の増加、社会環境の変化、家庭や地域の子育て環境の変化により、一層子育て支援が必要であると認識し、来年度予算に反映したいと考えています。

安江利英議員

- ・一般会計の中での政策費の金額と優先順位は
- ・土木業界の振興策について

平成十八年度の一般会計予算が十九億ほど計上されています。その中で政策費として使える分は、いくら位でしょうか。また、政策費の最終決定権は、村長にあると考えますが、どのような基準で順位をつけられているのか伺います。

不況の土木業界、これからの振興策をどのように考えているのか伺います。

答弁(安江村長)

一般会計の中で政策費は

平成十八年度ではおおむね一億七千四百万円程度であり、歳出総額の九・五%で約一割であります。その優先順位は、補助事業であれば補助内示のあるものを優先し、村単独事業であれば必要度、緊急度、さらには時期的なことを考慮しながら優先順位を決定しています。

土木業界の振興策について長瀬バイパスの完成が近づき、国道二五六号の改良を引き続き推進するため、期成同盟会的な組織を立ち上げまして、現地視察も行っています。来年度の国の予算概要では、公共事業については前年度比三%の減とされています。かつての水道事業や畑総事業等大きなプロジェクトをやっていた時とは大きな差はありますが、今後とも少しでも多くの事業が出来るよう努力します。

安倍 徹議員

東白川村の財政状況と

今後の取り組みについて

国からの地方交付税の減額分は、借入金である臨時財政対策債で振り替え措置がされています。このことは、債務累積残高拡大につながり、ひいては村の財政悪化を招くのではと思いますがその考えを伺います。

東白川病院は、二年後には診療所に移行するよう計画をされていますが、国の医療制度の改正等により当初計画より、経費(赤字補填)負担が増えると思われるかもしれません。大きな経費が必要な病院、介護関係について村長の基本的見解を伺います。

答弁(安江村長)

地方交付税の臨時財政対策債への振りかえ措置によって、今後村単独でいった場合に交付税が減ったり、高齢化社会による扶助費が増加したときのことを考えますと心配はありますが、今の状況がこのまま維持できれば、贅沢はできませんが、財政



完成間近の長瀬バイパス(白川橋)

悪化にはならないと確信をしています。

診療所への移行については、医師の確保に鋭意努力をしています。また、県から診療所に移行するという条件で、現在2名の医師を派遣をいただいています。そのようなことで、必然的に診療所にせざるを得ないというわけです。そのことに伴う医師以外の職員については、配置転換でやめていただく人がない形にしたいと考えています。

今井保都議員

久須見地内の

トンネル工事について

平成十一年度から始まりました美濃東部広域農道の工事もいよいよ最大のメリットとなるトンネル工事に着手します。この工事が始まりまると残土を利用した土地が広く確保されます。この残土の利用方法について、村民へその情報提供してはどうか伺います。

答弁(安江村長)

村民の方々に残土をというお話でございましたが、これは大量に出るものでありますし、当初の事業計画がありますので、トラックに1杯、2杯というような分配はなかなかできないのが現状でございますので、ご理解をいただきたい。

議員の一言

謹んで新年のお慶びを申し上げます。村民の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。さて、昨年中は、議会活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。

本村においては、前安江村長の急逝と悲しい事態に直面し、それに伴い議会の解散、村長選挙、定数減での議会選挙が行われ、新安江村長、議員七名での再出発することになりました。

本村の財政状況は、相変わらず厳しく、昨年八月に発表された市町村別実質公債費比率では、本村二十六・五割と高い数値であり、平成十八年度事業の一部を途中で取りやめなければならなかったことは、残念であったと思います。日本経済は、景気拡大が続いており「いざなぎ景気」を抜いたとも言われていますが、経済成長率は依然として低く、国が進めている三位一体改革により、地方交付税の大幅削減は、地方自治体にとって極めて厳しい現実をもたらしております。

平成十九年度の村政運営は、厳しいものになると思われます。村民全員が、安心・安全で活力ある村にするためにも、議会としても全力で村政に支援してまいります。村民の代表として、今年も皆様の声を村政に反映させるように努力してまいります。どうかよろしくお願い申し上げます。(安江祐策)

村有林視察を実施

十一月十五日村有林視察を実施しました。朝、九時に役場を出発し、越原国有林に到着、岐阜森林管理署の上司森林官影山氏より、今年度から始まる緑のオーナー制度の伐採事業地の説明を受けた後、神土新築村有林の作業道、午後からは、五加久須見村有林の保安林施業地の説明を受けました。

議会傍聴記

十二月十五日第四回議会定例会を睦会十四名傍聴させてもらう。私は、初めてのことで少し緊張気味でいた。一般質問に至っては、身近な事等で皆、真剣に聞いていた。子育てや老人問題が大きく取り上げられ、村長の意見や考えも伺い納得はしたが、私は、若い人達の事はどうなのかと心配になった。働く所が少ないので村外へ去って行く、何とかして一人でも多く村内にて仕事が出来、定住出来るよう考えて行かねばと強く感じた。医療の問題も近々変わるようだけど、私達、一人一人の健康維持に努めなければいけないなあーと思いました。短い時間の傍聴だったが、意義のある時間であったと改めて思った。(睦会 牧野智和)

昨年の議会傍聴者は、五十五名でした。

昨年の傍聴者数は、CATVの議会放映の効果もあり、五十五名の皆さんが傍聴にお越し下さいました。次回の定例会は、三月八日(木)から開催する予定です。



村有林の視察(新築母樹林)